

資料 1

令和 6 年 9 月 11 日
総合教育会議

教員の確保・育成

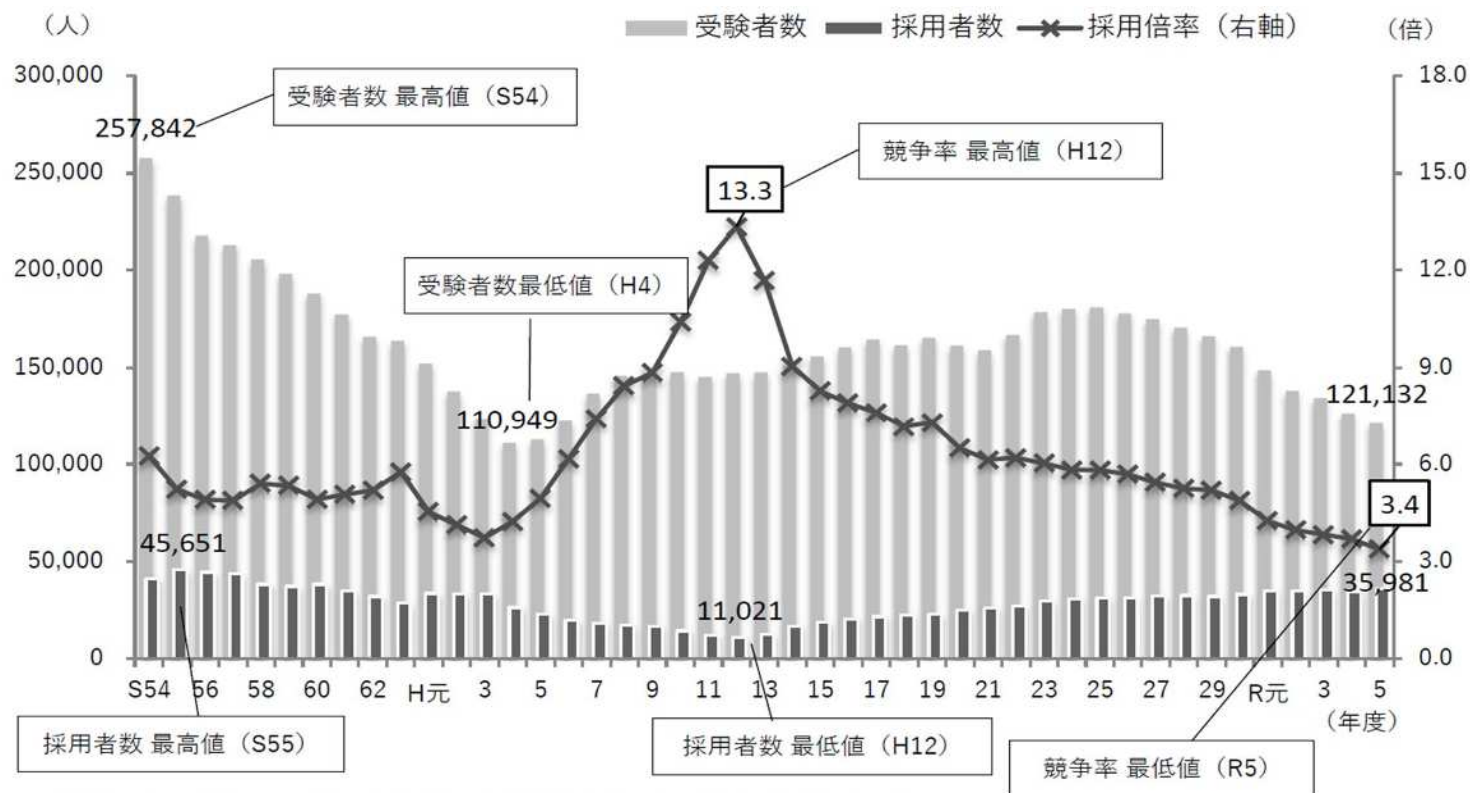


1. 教員採用を取り巻く現状



全国の受験者数・採用者数・採用倍率の推移

平成12年度をピークに倍率は減少傾向。令和5年度は3.4倍で過去最低

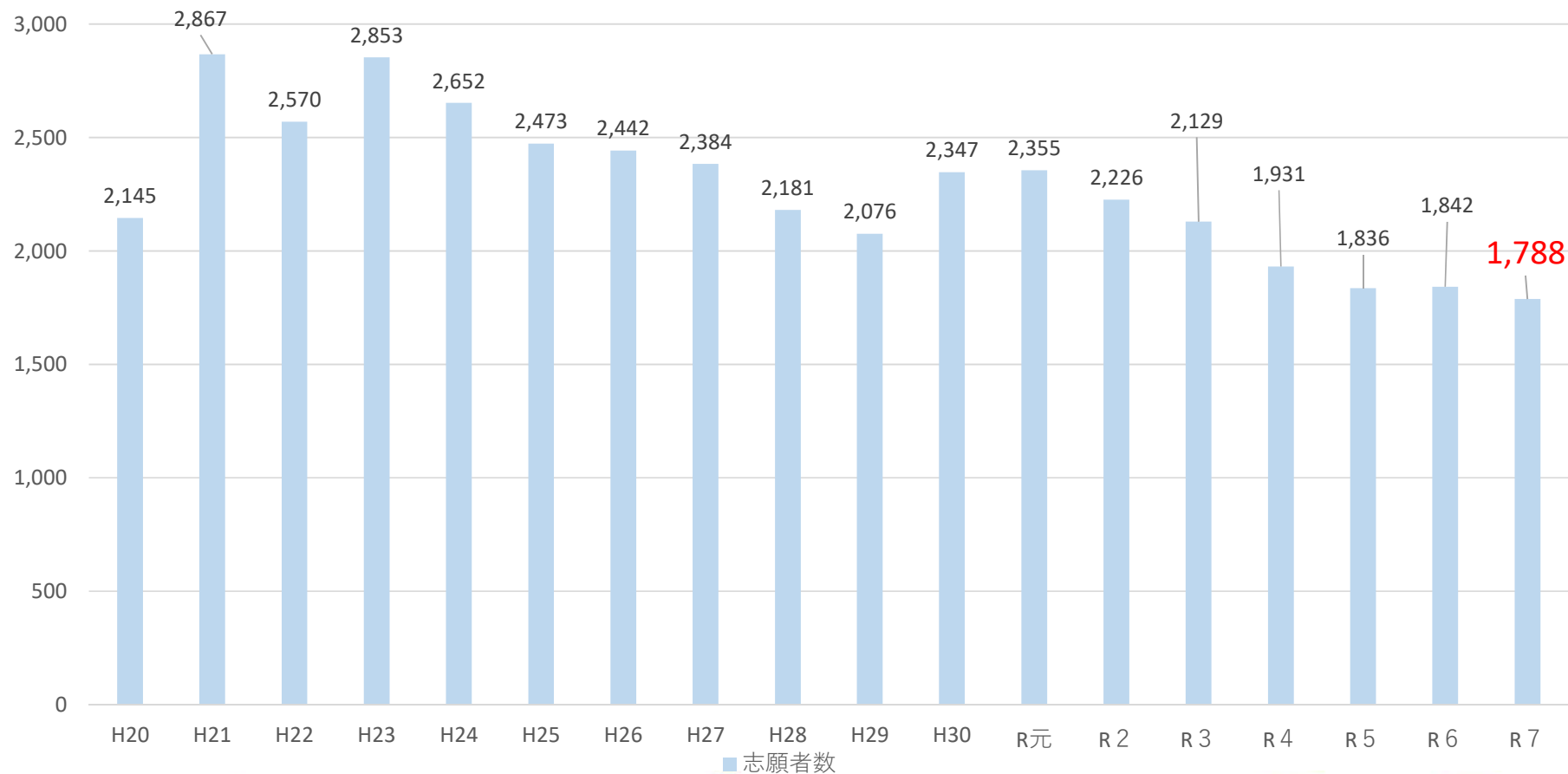


(注)「総計」は小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭の合計

出典：文部科学省（令和5年9月）「令和5年度（令和4年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況のポイント」

本市の受験者数の推移

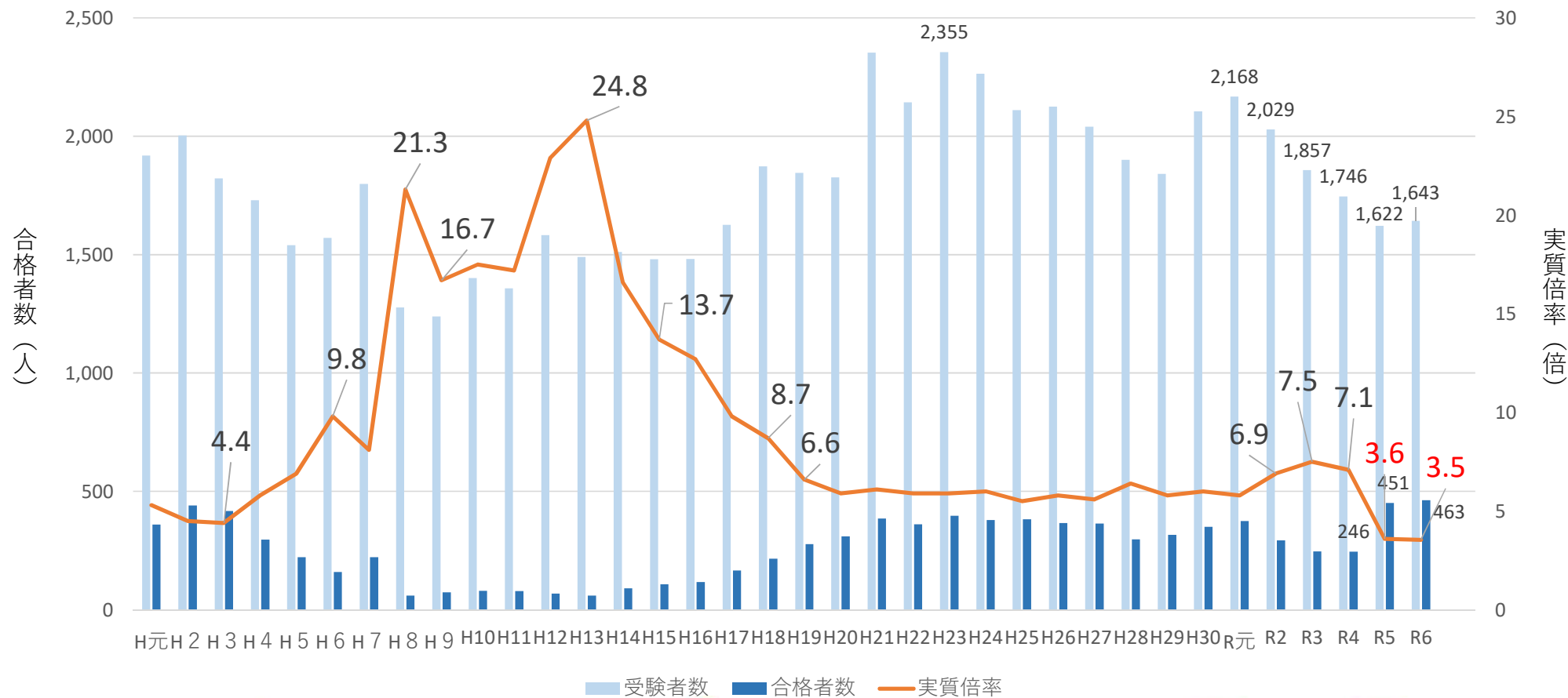
平成21年度をピークに減少傾向。令和4年度からは2,000人以下となっている



※横軸は採用年度

本市の採用倍率の推移

令和5年度採用から合格者数を大幅に増やしているため採用倍率は低下



教員の欠員状況

今年度は欠員ゼロでスタートできたが、年度後半に向けて増加していく見込み

(単位：人)

校種	R3. 5. 1	R4. 5. 1	R5. 5. 1	R6. 4. 9 (※)	R6. 5. 1	R6. 8. 1
小学校	2	19	16	0	0	6
中学校	0	7	4	0	1	7
特別支援 学校	0	0	0	0	2	3

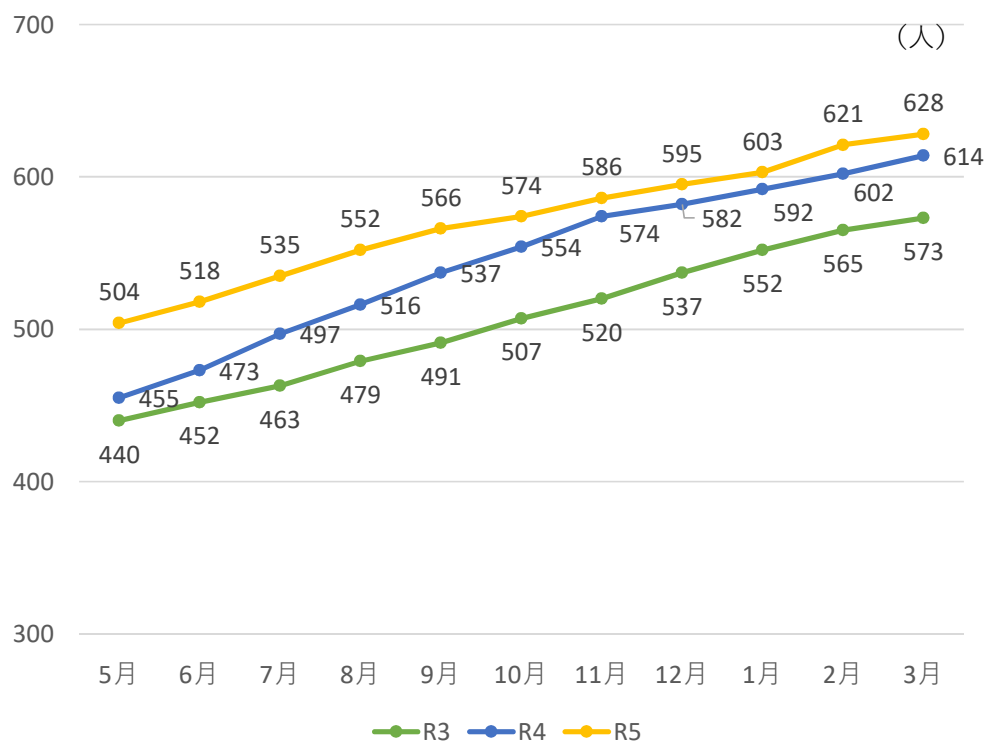
(※) 始業日時点の不足数



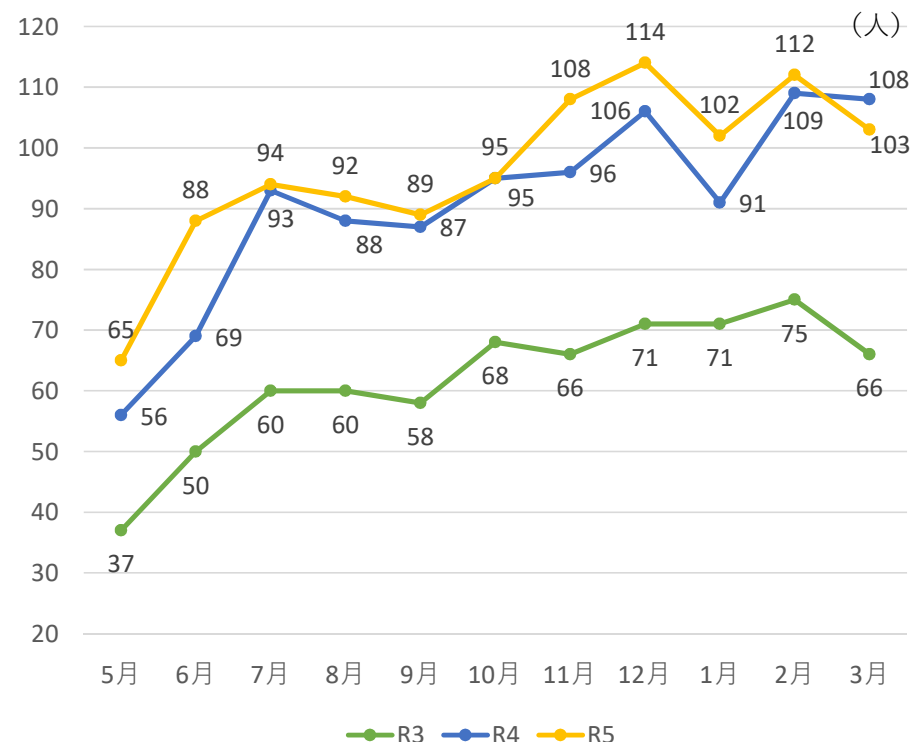
産育休・病休者等の推移

産育休者、病気休職者等は増加傾向。年度当初から年度末にかけて増加する

【産育休者の推移】



【病気休職等の推移】



2. 教員確保の取り組み



受験者増の取り組み

受験者の増に向けて、採用選考における改正を毎年実施

○積極的な教員採用（R4～）

○採用選考における改正（R6）

- 試験スケジュールの早期化
- 加点制度の見直し（司書教諭資格所有者への加点）
- 大学3年生等早期チャレンジ選考の実施
- 大学等推薦区分の推薦人数の上限撤廃

○市立高校へのセミナー（R6～）



臨時講師の確保

産育休等の代替のための臨時講師の確保の取り組みを実施

- 教員採用選考不合格者を対象とした臨時講師特別面談（R3～）
- ペーパーティーチャー等を対象とした研修
「KOBE教員スタートプログラム」（R4～）
- 臨時免許状の授与を前提とした選考（R5～）
- 臨時講師セミナー「神戸の先生はじめかた説明会」（R6～）



その他の取り組み

免許は持たないが専門性の高い人材の活用（特別免許状の活用）を実施

- 他都市正規教員経験者を対象とした特別選考（R4～）
- 補欠合格制度・前倒し採用の実施（R4～）
- 特別免許状の活用を前提とした特別選考（R5～）



今後の取り組み

教員確保のため、来年度も様々な対策を実施する

○次年度教員採用選考日程の前倒し

- 文部科学省からの通知（4/26）に基づいて、5月11日を1つの目安（標準日）として、もう一段日程の前倒しの検討が必要

○次年度教員採用選考の制度改正

- 新たな加点制度や免除措置の検討

○本市の魅力向上

- KOBE◆KATSU ほか



3. 教員の育成



新卒教員数

積極的な採用とともに、新卒者が増加。育成も重要な取り組みとなっている

(単位：人)

採用年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
正規教員	234	233	451	442
うち新卒者	68	80	145	158



教員の研修制度

年次に応じた研修により、資質・能力向上に取り組んでいる

